

# 寛仁親王杯 剣道八段選抜大会要綱

## 1. 試合の目的

剣の理法の修練は、充実した気力をもって正々堂々で行う攻防にある。  
試合は、修練した成果を一瞬のうちに有効打突として表現するもので、それが我が国固有の無形文化を伝承するものである。

## 2. 申し合わせ事項

- (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則に準じて行う。また、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法）に記載の試合方法。
- (2) 試合は3本勝負とする。
- (3) 試合時間は5分とする。延長戦は5分一本勝負とし、勝負の決しない場合は、判定により勝敗を決定する。  
ただし、準決勝・決勝は試合時間5分、勝敗の決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗が決するまで継続する。
- (4) 判定は「試合の目的」に基づき判定する。
- (5) 試合場の境界線・開始線は設けない。中央の×印のみを設ける。
- (6) 試合はトーナメント方式とする。
- (7) 審判員の服装は、白の剣道着・袴とする。

## 3. 表彰

- (1) 優勝者には寛仁親王杯を授与する。
- (2) 優勝、準優勝、3位（2名）には賞状（プレート）を授与する。
- (3) 各試合場から2名に優秀試合者賞（プレート）を授与する。